

安全衛生だより第1号

1. 2月全国行事

1) 省エネルギー月間

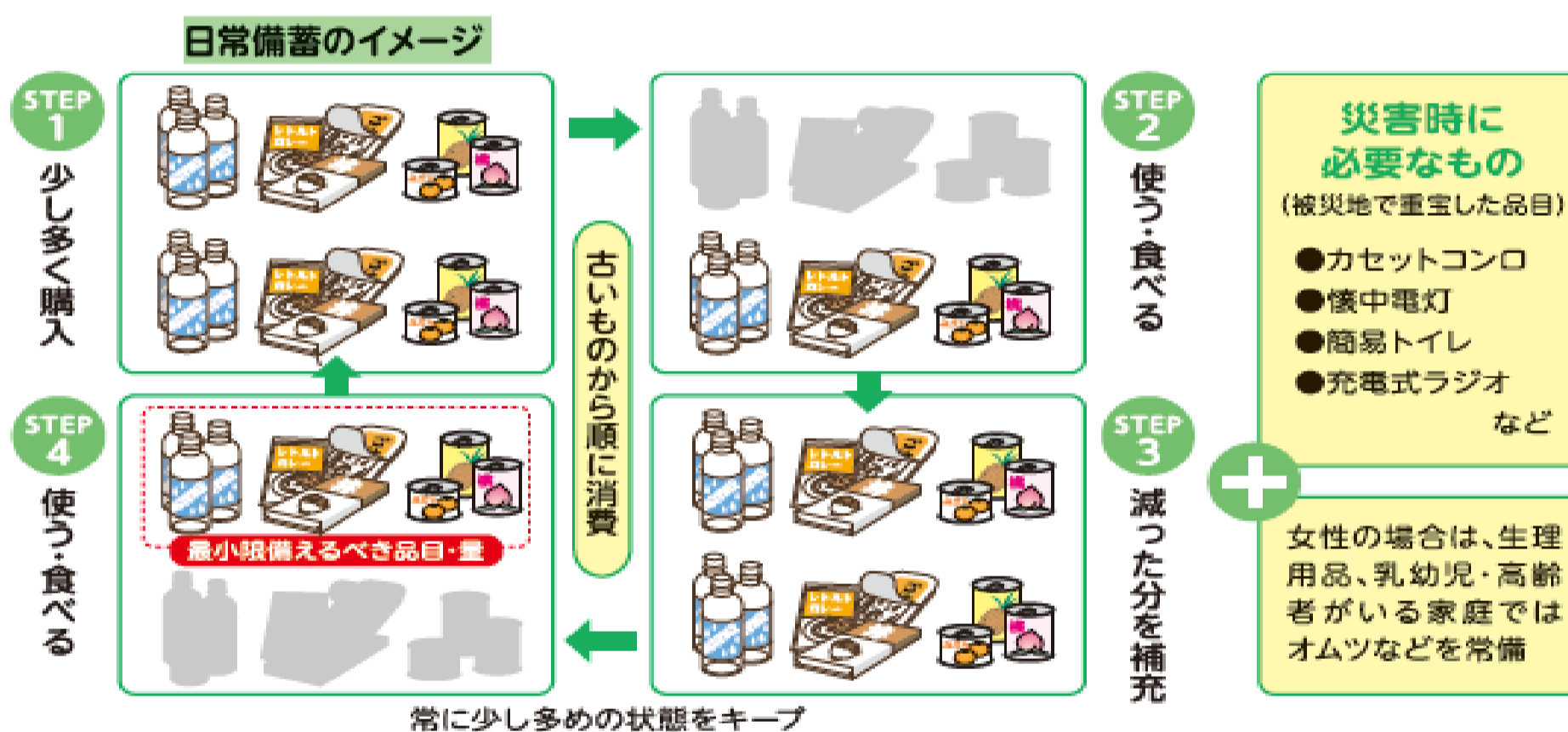
2月1日～2月28日

2. 安全・衛生・防災の心得 : 備える→食べる→買い足す ~ローリングストックのすすめ~

ローリングストックとは、日常生活で食料を消費しながらそれを補充していく、災害に備えた備蓄法です。防災用品の見直しをしながら、取り入れてみてはいかがでしょうか。

<ポイント>

- ①古いもの、賞味期限の近付いているものから順に食べましょう。
- ②食べた分だけ買い足して補充しましょう。
- ③家族の好みで食料を揃えれば、頻繁に消費できます。
- ④家族で役割分担して管理しましょう。
- ⑤料理のアレンジの利くパスタなどの麺類も入れておきましょう。
- ⑥古いものを奥に収納すると入れ替えにくいので、例えば新しいものは右側、古いものは左側など左右に並べたりしましょう。



災害発生直後に役立つ食品

包装を開けたらすぐに食べたり、飲んだりできるものが役立ちます。

エネルギー補給ができるもの

レトルトかゆや雑炊、缶入りパン、ビスケット、クラッカー、シリアル、栄養補助食品など

心の栄養補給ができるもの

一口ようかん、フルーツ缶など

※水分補給には、水以外に野菜ジュースやお茶、コーヒーもあると良いでしょう。

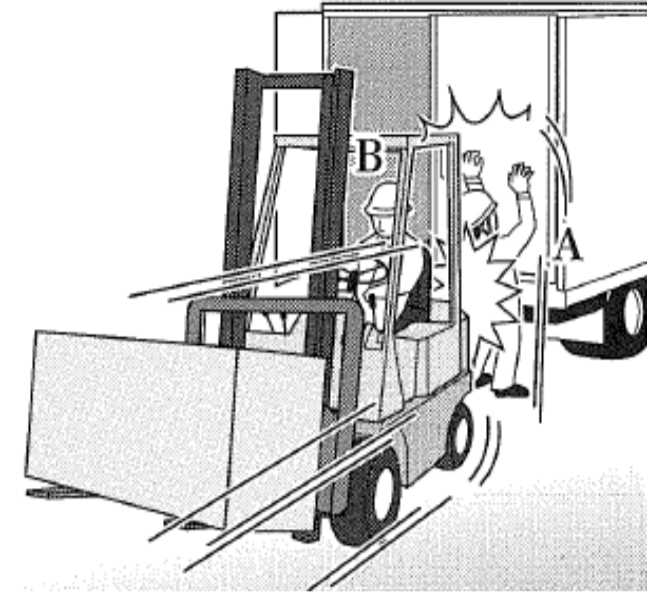
さらにあると便利なもの

簡単な調理ができるカセットコンロを用意し、一定量のカセットボンベも、日常で使いながら確保しておきましょう。カセットコンロは時間の経過とともに部品が劣化して、使用時にガス漏れが生じる恐れがあります。外観に異常がなくても、製造年月日を確認しながら10年を目安に交換しましょう。

3. 他社 事故・災害事例から：後退してきたフォークリフトに挟まれ

(1) 災害発生状況

屋内出荷場で、作業員Aがトラックへ荷積みを行うために荷台の扉を開けて作業していたところ、近くでフォークリフトによる荷物移動を行っていた作業員BがAに気づかないままフォークリフトを後退させてしまったため、Aがフォークリフトとトラックの間に挟まれて被災、死亡した。



(2) 災害発生原因

- ①誘導員を配置しないで作業員をフォークリフト付近に立ち入らせたこと。
- ②荷積み作業について、運行経路を含む作業計画を定めていなかったこと。
- ③同一の場所で荷積み作業を行っていた作業員間で、連絡及び調整を行っていなかったこと。
- ④安全衛生委員会で、ヒヤリハット・事故事例等が報告されていたにもかかわらず、有効な対策が実行されていなかったこと、など。

(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①歩行者等と車両の経路を区分し、危険箇所へ作業員等を立ち入らせない。
- ②フォークリフト及びトラックについて、運行経路等を含む作業計画を定める。
- ③荷積み作業について、作業間の連絡及び調整を行うこと。
- ④安全衛生委員会等で報告された災害事例・ヒヤリハット事例について、適切な安全対策を検討し実行すること、など。

- 環境安全部より：当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中で、共通1-1・構内運行、作業2-2・フォークリフト荷役作業を記載しておりますのでご参照下さい。

4. 当社 良い事例（抜粋）

●勝田工場

- ①旧事務所と検査室の間に専用の通路を設けて新セット場での接触事故を回避。



- ②階段に滑らない塗料を塗布して転倒事故を防止。



5. ヒヤリハット事例

- 事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	薬剤倉庫内
何をしている時に	積み上げられた複数の20L扁平缶を移動させる時
どうなった	倒れそうになった扁平缶を戻そうとして手を出した時に、指を挟みそうになった。 (自分で持ち上げられる能力以上の重量物を運ぼうとしていた。)